

日本足の外科学会 足関節・後足部判定基準 (JSSF ankle/hindfoot scale)

疼痛 (40点) ¹

/ 40

	自発痛・運動時痛	日常生活時	スポーツ・重労働時	(参考: 疼痛対策の有無)	
なし	全くなし	なし	なし	(なし)	40
軽度	時々運動時痛あり	なし	あり	(なし)	30
中等度	常に運動時痛あり	全ての動作時にあり	かなりあり	(時々必要)	20
高度	常に自発痛あり	かろうじて歩行できる	(痛みで)できない	(常に必要)	0

機能 (50点)

/ 50

活動の制限					
	すべての活動に支障なし				10
	日常生活には支障はないが、レクリエーション程度の活動に支障あり				7
	日常生活、レクリエーションに支障あり				4
	日常生活、レクリエーションに著明な支障あり				0
連続最大歩行可能距離 ²					
	600m以上				5
	400m以上600m未満				4
	100m以上400m未満				2
	100m未満				0
路面の状況					
	どの路面でも問題なし				5
	凸凹道, 階段, 斜面でやや困難				3
	凸凹道, 階段, 斜面はかなり困難, またはできない				0
歩容異常					
	なし, またはあってもわずか				8
	あきらかな異常はあるが歩行は可能				4
	著明な異常があり歩行が困難				0
矢状面可動域 (他動的背屈 + 底屈の総計) ³					
	正常, あるいは軽度の制限 (30° 以上)				8
	中等度の制限 (15° 以上30° 未満)				4
	著明な制限 (15° 未満)				0
後足部可動域 (他動的内がえし + 外がえしの総計) ⁴					
	正常, あるいは軽度の制限 (健側の75% 以上)				6
	中等度の制限 (健側の25% 以上75% 未満)				3
	著明な制限 (健側の25% 未満)				0
足関節と後足部の安定性 (前方引き出しあるいは内外反ストレスによる不安定性の有無) ⁵					
	安定				8
	不安定				0

アライメント (10点)

/ 10

良	蹠行性足 ⁶ , 変形なし	10
可 ⁷	蹠行性足, 軽度 ~ 中等度の変形	5
不可 ⁷	非蹠行性足, 高度の変形	0

計 / 100

脚注

- 1 あてはまる項目のうち最も低い点数で選ぶ
- 2 連続して休まずに歩行できる最大限の距離
- 3 基本軸を胫骨, 移動軸を足底面とし, 膝関節屈曲位で計測する
- 4 基本軸を下腿への垂直線, 移動軸を足底面とし, 膝関節屈曲位で計測する
- 5 前方引き出しあるいは内外反ストレスでのエンドポイントで, 抵抗感がある場合は「安定」, ない場合を「不安定」, とする
- 6 「蹠行性足」とは, 歩行時に足底接地が可能な足のことをいう
- 7 徒手的に矯正が可能な場合は「可」, 不可能な場合は「不可」, とする